

大垣市の野

赤坂・西部クラブ 全日本少年春季軟式野球大会 準優勝！ 全日本少年軟式野球大会 出場！

令和5年3月21日から28日にかけて静岡県で開催された文部科学大臣杯第14回全日本少年春季軟式野球大会において、赤坂中学校と西部中学校の合同チームが見事、準優勝する輝かしい成績を収めました。赤坂・西部クラブは、初戦は香川県大手前高松中学校に7-0で危なげなく勝利しました。2回戦から5回戦までは1日に2試合行うハードな日程となりましたが、各試合を1失点以内で抑え順調に勝ち抜き、決勝までコマを進めました。28日に草薙総合運動場硬式野球場で決勝戦が行われました。相手は前回王者の鹿児島県の日章学園鹿児島育英館中学校。先攻の赤坂・西部クラブは相手のピッチャーの好投により得点を奪えず、惜しくも0-3で敗れましたが、準優勝という輝かしい成績を収めました。

また、8月14日から17日にかけて神奈川県横浜スタジアムで開催された中学生の甲子園とも称される第40回記念全日本少年軟式野球大会にも、岐阜県大会、東海ブロック大会を勝ち抜き出場しました。初戦は、東京都の石泉クラブとの対戦。強豪ひしめく東京都予選を勝ち抜いた猛者との対戦は、接戦の末、惜しくも2-3で敗れてしまいました。

練習する時間も限られる合同チームで、全国準優勝の快挙を成し遂げた赤坂・西部クラブの躍進は、中学校部活動地域移行化などが進む現状において、明るいニュースになりました。



全日本少年春季軟式野球大会 準優勝

西濃運輸野球部 都市対抗野球大会3年連続出場！

西濃運輸野球部は、令和5年6月9日に岡崎レッドダイヤモンドスタジアムで開催された第94回都市対抗野球東海地区二次予選にて東海理化と対戦しました。後攻の西濃運輸は2回表に東海理化に2点を先制されましたが、4回裏に丹下大輝選手のタイムリーで1点を返しました。そして、8回裏の西濃運輸の攻撃。原田大輔選手のタイムリーで同点に追いつき、丹下大輝選手のスクイズで逆転しました。その後、9回の東海理化の攻撃をきっちりと0点で抑え、3-2で勝利し、東海第5代表として、本大会への出場を決めました。

東京ドームで開催された本大会では、初戦でHonda 熊本と対戦しました。1回表のHondaの攻撃で1点を奪われるものの、その裏の西濃運輸は松本桃太郎選手がホームランを放ち同点としました。その後、7回表に1点を失うも、8回裏に小中健蔵選手のタイムリーにより、再び同点としました。緊張感漂うシーソーゲームとなりましたが、9回にHondaの猛攻を受け8点を失い、その裏の攻撃、西濃運輸の反撃とはならず2-10で悔しい敗戦となりました。

初戦で敗れたものの都市対抗野球大会3年連続出場と地力のある西濃運輸野球部の今後の活躍が期待されます。



Honda熊本戦で得点した小中健蔵選手

球が熱い!!

大垣日大高校野球部 春夏の甲子園出場!

大垣日本大学高等学校硬式野球部は、第95回記念選抜高等学校野球大会（春の甲子園）と第105回全国高等学校野球選手権記念大会（夏の甲子園）に出場しました。

春の甲子園は2年連続出場となり、3月18日に迎えた初戦、大垣日大は沖縄県の沖縄尚学高等学校と対戦し、接戦の末、惜しくも3-4で敗れました。

春の甲子園での悔しい敗戦から季節が過ぎ、迎えた夏の岐阜県予選。厳しい試合が続くトーナメントを勝ち抜き、岐阜市立岐阜商業高等学校との決勝。緊迫する接戦を4-3で制し、5年ぶり6回目の夏の甲子園出場を決めました。

そして迎えた8月8日の甲子園初戦は、滋賀県の近江高等学校との対戦。エースの山田溪太選手が投げては6回途中まで2失点、打っては3安打3打点と大活躍を見せ、7-2で勝利しました。

13日の2回戦は、岡山県のおかやま山陽高等学校との対戦。1回裏のおかやま山陽の攻撃で2点を失うも、大垣日大は2回表の攻撃で1点を返し、8回表にも1点を取り同点に追いつきました。そして、延長10回表に大垣日大が貴重な1点で勝ち越し、勝利目前でしたが、その裏、おかやま山陽の猛攻により2点を奪われ、3-4で逆転負けとなりました。

悔しい敗戦となりましたが、初戦での勝利などもあり大垣市民に多くの感動を与えた夏となりました。



夏の甲子園での入場行進

大垣北高校 Jrベースボールラボ ～高校生がつくる未来の地域スポーツ～

令和5年1月22日を皮切りに、大垣北高等学校硬式野球部が地元小学生を対象とした野球教室を開催し始めました。この教室の企画立案は、北高野球部部員で地元の少年団出身である2年生の無藤蓮生さん（企画立案当時1年生）が、野球人口の減少や全国体力テストで小中学生の体力が年々低下している問題を学び計画しました。

この教室は定期的（2週間から1ヶ月間に1回）に開催され、高校生が主体となり練習メニューを考え指導を行っています。小学生は、身近にお手本があることや年齢の近い高校生から教えてもらえることで、楽しく高いモチベーションで練習することができ、技術の向上もしています。また、高校生にとってもメリットがあり、小学生へ教えるために練習の意味などを考えて言語化することで、技術の向上、練習の効率化に繋がっています。本教室は、野球だけではなく、夏休みには勉強会も実施し文武どちらのサポートもしており、充実した教室となっています。

この野球教室を通じて地域との繋がりの強化や、小学生・高校生含め野球を楽しめる子どもたちの増加が期待されます。

本教室にご興味のある方は、「大垣北高校硬式野球部 Instagram」（右 QR コード）からダイレクトメッセージにてお問い合わせください。



高校生によるトスバッティング指導



@OGAKIKITA.BBC.SINCE1899